

# 農業用ブルドーザによる省力・低コスト技術の導入を推進しています

中央普及支援センター

県では、製造業等他産業のノウハウを活用し、農業の収益性向上を目指す取組を進めており、平成26年度からは株式会社小松製作所（以下、小松製作所）と連携し、農業用ブルドーザを活用した水田農業の省力・低コスト技術の開発・普及に取り組んでいます。

開発した農業用ブルドーザは、

- ① ICT（情報通信技術）機能が搭載され、熟練の技術・ノウハウが無くても高精度なほ場の均平化や畦倒しによる大区画化が可能
- ② 各種の作業機（アタッチメント）を装着することで、複数の作業に活用可能
- ③ けん引力が大きく、馬力が必要な心土破碎や耕起などがスムーズに実施可能などの特長を有し、水田農業の効率化やコスト低減に繋がることが期待されます。

そこで、当センターでは、本開発技術の農業現場への導入・普及に向けて、小松製作所・各農林総合事務所・農業試験場と連携し、令和2年度から県内各地に農業用ブルドーザの作業性を実証するための展示ほを設置し、具体的な活用方法やコスト低減効果を知ってもらうための見学会等も開催しています。

また、コスト低減に向けては、レンタルや共同利用（シェアリング）など利用形態の検討も行っています。

こうした活動により、令和3年度には実証効果に興味を持った農業者自らが農業用ブルドーザをレンタルして活用する事例も見られるなど、ほ場均平化作業を中心に利用ニーズが高まっています。

今後もさらなる利用拡大に向け、当センターでは引き続き農業者の方々の理解促進や取組について各農林総合事務所と連携しながら周知を図るとともに、実際の利用場面における支援を進めていきたいと考えています。



図1：農業用ブルドーザによるほ場均平作業



図2：展示ほでの見学会の様子

問い合わせ先：農林総合研究センター農業試験場

中央普及支援センター（076-257-9150）